【公報種別】特許法第１７条の２の規定による補正の掲載
【部門区分】第５部門第２区分
【発行日】平成18年11月9日(2006.11.9)

【公開番号】特開2005-172047(P2005-172047A)
【公開日】平成17年6月30日(2005.6.30)
【年通号数】公開・登録公報2005-025
【出願番号】特願2003-409744(P2003-409744)
【国際特許分類】
Ｆ１６Ｈ　25/22　(2006.01)
Ｆ１６Ｈ　25/20　(2006.01)
【ＦＩ】
Ｆ１６Ｈ　25/22　Ｚ
Ｆ１６Ｈ　25/20　Ｆ

【手続補正書】
【提出日】平成18年9月25日(2006.9.25)
【手続補正１】
【補正対象書類名】特許請求の範囲
【補正対象項目名】全文
【補正方法】変更
【補正の内容】
【特許請求の範囲】
【請求項１】
回転要素と、軸線方向移動要素と、前記回転要素と前記軸線方向移動要素との間に配置された転動体とを含み、前記回転要素の回転運動を、前記軸線方向移動要素の軸線方向運動に変換するボールねじ機構において、
前記軸線方向移動要素に螺合するねじ部材と、
前記ねじ部材を案内する案内部とを有し、
前記ねじ部材が前記案内部に沿って移動するときに、前記案内部と前記ねじ部材との摩擦により生じる回転力の方向は、前記ねじ部材の締め込み方向と一致することを特徴とするボールねじ機構。
【請求項２】
前記回転要素と前記軸線方向移動要素との間に形成されたねじ溝及び前記ねじ部材のねじ部の一方は右ねじであり、他方は左ねじであることを特徴とする請求項１に記載のボールねじ機構。
【請求項３】
前記ねじ部材は２つ以上設けられていることを特徴とする請求項１又は２に記載のボールねじ機構。
【請求項４】
前記ねじ部材の外径は、前記案内部の当接部の幅よりも長さΔだけ小さいことを特徴とする請求項１乃至３のいずれかに記載のボールねじ機構。